

臺灣總督府
臨時情報部

報部

昭和十四年一月二十一日

昭和十二年九月二十日創刊
昭和十四年一月二十一日發行
（每月一日、十一日、廿一日發行）



附錄	華僑	海外	地方	代用品	本島の教科書編纂に就て
臺灣事變 時局日誌	(臨時情報部)	(臨時情報部)	(州・廳臨時情報部)	(殖産局商工課)	(文教局編修課)
	報	報	報	に就て	

第五十號

更生の廣東



戦火に見舞はれ退却に際する放火と掠奪に廢墟に化した廣東も十二月二十日治安維持會の誕生と相俟つて秩序を回復し、今や支那民衆の復讐するもの六十萬、日一日と明朗の度を加へつゝある。市街を馳驅する凡ての活動は更生と建設を目指して伸び行く生命の躍動する姿である。

南支の天氣は明るい。

廣東は生きて躍る。

街頭に立つ民衆の聲！

更生廣東のシンボル！

本島の教科書編纂に就て

文教局編修課

一 沿革の概要

臺灣教育の發端が芝山巖にある如く、教科書編纂事業も亦こゝに始まる。改隸の當初伊澤學務部長の英斷によつて學務部を芝山巖に移轉されるや、事務の傍直ちに學童を集めて實際教育を開始し、部長始め部員は日々教科書を作つては教へ、教へては作るといふ状態であつた。この時の産物が今日も残つてゐる日本語教授書その他である。

二十九年一月一日伊澤部長の上京不在中、芝山巖は土匪の襲撃する所となり、六氏は不幸殉難したので、學務部は臺北に復り、學堂は一時間閉鎖の運命に陥つたが、四月伊澤部長は第一回の講習員四十餘名を率ゐて歸臺し、直ちに芝山巖に赴き學堂を復舊し、講習員の教育をも始められた。その中に國語傳習所が全島各地に設けられることとなり、第一回講習員は七月卒業と共に各地の國語傳習所に赴任して、その創設の任に當つた。

一方學務部に於ては既に編纂課が設けられ、伊集院兼良といふ人が初代の課長として任命さ

れ、編修事業を開始してゐたのである。同年度に發行されたものとして臺灣適用小學讀本教授指針、臺灣適用小學讀本作文掛圖教授指針その他十種ばかりの書物が残つてゐる。これらは概ね國語傳習所の教科書として使用されたものである。三十一年に公學校規則が公布され、漸く初等教育の體裁を備へるやうになつたので、正式にこれが教科書をも編纂することになつた。爾來總督府に於ける教科書編修事業は行政機構に幾多の變遷はあつたが、その主要任務は公學校教科書の編纂であつた。それ以外のものとしては、大正七八年頃本島人男女の中等教育機關として、高等普通學校、女子高等普通學校が設置された際、これらの學校に使用せしめる國語讀本を編纂したこと、その前後に師範學校用の算術書、小學校用裁縫書を編纂したことなどが主なものである。ところが昭和時代になつて、小學校、中等學校、師範學校の教科書の一部をも編纂することとなつたので、現在では教科書の種類も頗しく増加するに至つた。

二 現況

現在總督府から發行してゐる學校教科用圖書は公學校第一種（普通の公學校に使用せしめるもの）兒童用が、修身・國語・國史・地理・理科・農業・商業・圖書・唱歌・家事等各科目に亘つて二十九種、同上教師用九種、同上掛圖四種、公學校第二種（主として高砂族兒童を收容する公學校に使用せしむるもの）兒童用が、修身・國語・算術・國史・地理・理科・農業・圖書・唱歌等各科目に亘つて十三種、同上教師用五種、同上掛圖三種、小學校兒童用が理科・農業・圖書三科目で五

種、同上教師用三種、補習學校生徒用が國語・農業・公民科の三科で十一種、中等學校が公民科二種、以上のうち小學校用に公學校と共通のものが三種あるからそれを差引いて合計八十一種に上つてゐる。師範學校農業書は目下編纂中である。その他参考用圖書をも十數種發行してゐる。

これらの圖書の拂下冊數は昭和十二年度に於て小學校用四一四、九六九冊、公學校用四、七九〇、五三四冊、中等學校用四、三〇四冊、補習學校用三、七九四冊合計五、二二三、六〇一冊となつてゐる。近年は年々一割乃至一割五分位の増加をなしてゐるから、本年度の拂下冊數は約六百萬と見て大差はなからうと思ふ。これがため書物を保管する倉庫設備も容易ではなく、現在總督府構内倉庫の一階全部、文武町の俱樂部跡、泉町の税關倉庫跡と三箇所使用してゐるが、不足なので本年度に於て倉庫一種新設することになつてゐる。

編修課主管の事業として、以上の外辭典の編纂がある。これは當初から引續いて行はれ小川編修官(後の臺大教授)が久しくこれに従事してゐられた。既に日臺大辭典、臺日大辭典、臺日小辭典、廣東語辭典、アリアル語集、パイワン語集、アミ語集等が發行され、目下は日臺大辭典の修正増補に當つてゐる。小川氏は一昨年内地に歸還されたが、矢張囑託として校閲の任に當つて居られる。

三編纂要旨

終りに教科書編纂の趣旨に就いてその大要を説明して置きたいと思ふ。

前章に述べた如く現在發行してゐる教科書には公學校用の外、小學校用として理科・圖書・農業の教科書、中等學校用として公民科教科書があり、目下編纂してゐるものは中等學校用の理科、師範學校用の農業教科書があるが、これらは何れも本島特殊の事情のため、内地を目標として作つたものは不適當だから、特に本島で編纂することにしたのである。特殊の事情といふのは自然界の相異と人事殊に制度慣習等の相異を指すので、理科・農業・圖書は主として前者、公民科は後者と關係がある。以上の教科書に就てはこれだけに止めて置いて、書物全體に就いての説明はこれを省略する。

公學校用教科書は算術は小學校同様國定教科書を使用させてゐる。これは規期に定められた課程が同一であり又多年の経験によつて、實際の程度も略々同様であることを認めたのと、この教科書の使用には比較的國語の支障が少いためとである。その他のものは全部總督府で編纂したものを使用させてゐるが、各書に就いて編纂趣旨を説明してゐたものでは、大要に止めるにしても相當長くなるから、一括してその要旨を述べる。

第一に公學校の教科書はその何たるを問はず臺灣教育令に掲げてある

公學校ハ兒童ノ身體ノ發達ニ留意シテ之ニ德育ヲ施シ生活ニ必須ナル普通ノ知識技能ヲ授ケ國民タルノ性格ヲ養成シ國語ヲ習得セシムルコトヲ以テ目的トス
といふ公學校教育の目的に合致せしむることを主眼としなければならぬ。次には臺灣公立公

學校規則第二十四條から第三十四條(本文省略)に至る各條文に示されたる各科教授の要旨、及び教材選擇排列の標準に合致せしめなければならぬ。
 以上は根本の據りどころであるが、實際上編纂の方針としてゐるのは、次の諸項に要約することが出来る。

- 一 公學校の教科書は特に國民性の涵養を重視する。
- 二 公學校の教科書は國語讀本以外のものに於ても、國語學習の目的に適合せしむることを念とする。即ち同一内容を與へるにしても、國語の程度を考慮し、理解し易いやうな表現様式を採ることに力める。
- 三 公學校の教科書は本島特殊の事情を考慮する。これは兒童の環境に對する注意であつて自然界、風俗習慣等の特異なる點を考慮し、これに順應させ、或は反對に覺醒改善させるやうに指導することである。自然界の情態の如きは何時までたつても如何ともするとの出来ないもので、これを理解し利用するやうに導くまで、あるが、風俗習慣の如きはなるべく速かに皇民化させなければならぬものであるから、理解や興味といふ點にのみ拘泥すべきではない。これらは記事に於ても、挿繪に於ても出来る限り内地風を採用することが大切である。たゞこれにも適當の程度のあることを忘れてはならぬ。
- 四 公學校の教科書は實際的實用的ならしめることを念とする。これを細説すること。
- 五 何れの教科書でも日常生活に於ける實際的知識を重視すること。

ロ 教育教授の理論に囚はれないで、周囲の事情、兒童の程度等に十分の考慮を拂ふこと
 ハ 材料程度等につき都鄙何れにも編しないやうに注意すること

五 公學校の教科書は時勢の進運に伴はしめるやうに注意を拂はなければならぬ。これは何れの學校の教科書でも同様であるが、本島のやうに過渡期にあつて社會情勢の變化の激しいところでは、その方面にも常に注意しなければならぬ。

六 公學校の教科書は教師の扱ひ易いやうに編纂することを忘れてはならない。これも各種の學校の教科書共に必要なことであるが、教師の質のまだ不揃な本島では特にこの點に考慮を拂はなければならぬ。

最後に公學校の教科書に一種と二種の別を設けた理由を説明する。これは主として環境の相異に基くもので、福建・廣東兩種族の子弟を目標として作った教科書を高砂族子弟に適用することは、どうしても幾多の點に不都合を生ずる。即ち皇民化の上にも、學習効果の上にも影響を來すのである。そこで昭和四年以來特に豫算に計上してその編纂を始め、今日では一通り完成してゐるのである。

二種の教科書は材料ばかりでなく多少程度も低いので、これを使用する學校で實際の程度如何に拘はらず、いくらか不面目のやうに考へて一種を使用したがる傾向があるが、これは當局の意圖をよく辨へない所謂親の心子知らずで徒らに外見に拘泥し、效果の舉らない教育をすることになるのである。消化力に相應しない食物を攝取して、營養價值が高まる譯はないのであ

る。
このことは小公學校の教科書を共通にするといふ問題とも關聯する。公學校の算術・圖書・同
高等科の理科の如きは、比較的支障のないものと認めて、今日既に共通にしてゐるのであり、
その他のものも適當なものから漸次共通にしていきたいとは考へてゐるのであるが、今何角
も共通にするといふのは時期尚早である。無理をすれば公學校教育の内容を破壊する虞があ
る。今日小學校兒童と公學校兒童の國語力は實質に於て非常な懸隔があり、又諸種の事情の相
異は同一教材では消化の程度に大變な相異を來すことは、少しく公學校教育の内容を點檢した
ものには直ちに首肯されることである。共通にせよと主張するのは國語のよく出来る少數の家
庭や極めて成績のよい少數の公學校を標準にして物をいつてゐるのである。懸念なしにいへば
成績最優良な學校でも今日小學校と全然同一の教材では相當困難を覺えるに違ひない。この點
決して無理をすべきでないと思へる。(終り)

代用品に就て

殖産局商工課

本稿は井田商工課長が臺北放送局よりの國策放送の概要である

昨日から臺北市公會堂で開かれて居ります代用品工業振興展覽會の開催を機會に皆さんと共に代用品に就て考へて見たいと存じます。

一體代用品工業と云ふ言葉は極く最近になつて使はるる様になつた言葉でありまして支那事變この方面に人々の口の上に至つたと申されませう。勿論代用品と云ふ言葉は古くから有るには有りましたが事變後は特にある意味が加つて用ひられて居る様に考へられます。そこで代用品工業とはどう云ふ意味であるかと申しますのに、これに對してはつきりした定義を與へる事は六ヶしいのでありまして、或る人は「代用品工業とは同じ目的の爲に用ひらるる物の中で、元來ある物に比べて質の及ばない物を生産する工業を謂ふ」のであると申して居りますが、これは少しどうも苦しい狭い解釋の様に思はれます。

今日代用品として考へられて居る品物の中で從來あつた本物の物よりも代用品の方が寧ろ優

つて居るものも決して少くないのでありますから代用品工業は本物が無いから其の間に合せに使ふ目的の品物を作る工業とのみは云ひ兼ねるのであります。

例へば今迄吾々は牛の皮や羊の皮で造つた靴を履いて居りましたが我邦には牛や羊の皮が充分でないので何か牛や羊の皮に代るものはないかと色々研究の結果海に泳いで居る鯨の皮で結構立派な靴が出来た様になつたのであります。既に鯨の皮の靴はそれ自體立派な靴であります。吾々はどうも目新しいせいか、牛や羊の皮の靴の皮用品の様へたがらる。

牛や羊は人間の靴になる爲に生れて来たものではありますまいが吾々は自分の靴は牛や羊の皮に限る様に思つて鯨の皮の靴を代用品として考へて居る。併し鯨の皮の靴もだんだん慣れて吾々が鯨は人間の靴になる爲に泳いで居る様に考へる様になつたら將來鯨の皮の靴を代用品と考へなくなる様になるかも知れません。又護謨の如きは護謨の木から採るものと皆理解して居りますが、驚くことにはセメントを造るあの石灰石からでもゴムを造ることが出来るのですが、この人造ゴムはゴムの木から造るゴムと異つて色々な特徴がある、その人造ゴムを吾々は自然ゴムの代用品の如く思つて居る。併しその人造ゴムは去る世界大戦の時獨逸國が經濟的に封鎖せられてゴムを南洋方面から輸入することが出来なくなつて非常に困つたその結果何とかしてゴムの木からでなくゴムを造らうと努力して遂に科學の力はよつてゴムを造ることに成功したのであります。斯様に獨逸の如く天然資源に不足な國は戦争の際には物資に甚だ困るのであります。吾々はその爲非常な努力を拂つて此の不足に打勝たうとして、見方によつては代用品工業の發

達によつて現在世界第一の工業國として雄飛しつゝあるのであります。

されば獨逸と同じく吾が國は天然資源に乏しい所謂「モタザル國」の一つであります。支那事變以來我邦に乏しい物資又は全く無い品物に代つて全々ないか、又あつても少い品物の役目を果す品物を造る工業を一口に代用品工業と稱して居るのであります。代用品工業によつて造らるる品物は實は本物に代つて一時代役を努める類の品物ばかりではないので、それ自體が從來ある品物以上によい物が多くあり而もそれ等の品物を造る工業は現在に於ける科學の尖端をさる最も進歩した工業なのであります。

斯様に代用品工業は我が國に於ては其の起りが極めて最近の事に屬する新規な産業なのであります。拘はらず我國の代用品工業の現況を見まするに洵に素晴らしい躍進的な發展の跡を示して居るのであります。

今回開催せられて居りまする代用品工業振興展覽會を御覽になりますとこんな代用品も出来る様になつたかと陳列されて居る代用品の種類が甚だ多いことに誰しも驚嘆の眼を見張られることであらうと思はれますが、我が國に於て現在既に勃興して居りますところの代用品工業の主なものを挙げて見ますと棉花、羊毛に代るものとしてステープルファイバー工業、我邦には亦甚だ少い石油代用の人造石油工業、金屬と皮即ち皮革關係の幾多の代用品工業等をその代表的なものとして其の種類と範圍は實に多岐多様に亘つて居るのであります。今回の展覽會に出品されて居るものだけでも實に三百三十餘種類、點數に致しまして三千五百點餘に上つて居る

のであります。尤も之等の中には尙今後研究を要するものや企業として將來の計畫に残されて居るもの、言葉を変えて申しますと漸く試験時代を通つたに過ぎない様なものもないではありませんが、大部分のものは何れも既に企業として立派に成立つて居るものでありまして就中ステープルファイバー、セルロイド、擬革、合成樹脂中ノベークライト、アルミニウム、再生ゴム、エタニットパイプ、陶磁器製の代用品等の如きは何れも極めて優秀な製品を市場に出すに至つて居りますし、バガス或は蘆パルプ、木炭瓦斯、合成タンニン、大豆カゼイン等も既に大量的な企業化の時代に這入つて居るのであります。

斯様に現在代用品と考へられて居る品物の種類は甚だ多種多様に亘り頗る多いのであります。其の種々雑多な代用品が僅々一年か二年の間に總て企業化せらるるに至つたのではありませんが、事變上の必要に應じてかくも重要な役割を努め得るに至つたことは誠に驚嘆の外ないものであります。とりもなほさずこれは日本の科學と工業の力が如何に躍進的進歩發展を示して居るかと言ふことを明かに立證して居ることでありまして我々國民として甚だ心強く感ぜざるを得ない事柄であります。

しかし一面、代用品工業が斯くの如く急激に勃興いたしましたのは「必要は發明の母」と申しまするが如く、それだけの理由があり、必要があつたことであると云ふ事實に就いても我々は充分認識を新たにして置く必要があります。即ち今日の如く經濟組織と國民生活は非常に複雑となり、又國防の科學化に伴ふて軍需資材が廣範圍に及ぶ時代に於ては、國家總動員に必要

なすすべての物資を自給自足すると云ふことは如何なる國家でも不可能でありまして多少とも國外資源に依存せざるを得ないのであります。されば天然資源が甚だ乏しく、平時に於ける輸入貿易額の實に八割は原料品に依つて占められて居る我が國に於て事變以來軍需資材確保の爲に國民生活に必要な方面の物資の原料の輸入を極力抑制するに至りましたのは洵に止むを得ない事柄なのであります。其の結果として國民生活に必要な物資の供給不足が招來され、斯る事情が代用品工業を勃興せしめて參つたのであると考へらるるのであります。

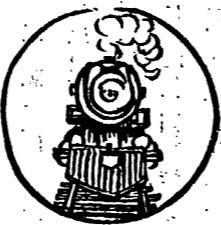
ところがこのやうな状態は、東亞の新體制確立の爲の長期建設時代に直面してゐる我が國の現状より見ましても、又現在の國際情勢に鑑みましても今後當分持續するものと見なければなりません。斯る状態に基く必要性の増加に伴つて代用品工業も益々急速度を以て進歩發展せしめ、最早や單なる代用品でなく、代用品の域を遙かに越えたところの新生品に迄押進めらるる様に其の發達を計らねばなりません。現に近時非常な進歩發達の跡を示して居りますところの人造ゴム、人造樹脂等は既に天然資源に依るものよりも高級安價なものにならんとする兆を示して居るのであります。

斯様に代用品工業は非常時局下の我が國産業界に颯爽として登場し、今や隆々として勃興の一路を辿つて居るのであります。翻つて我が臺灣には代用品工業振興の見込があるかどうかと云ふことを考へてみまするに、本島にも代用品工業の原料たり得る資源が決して尠くないのであります。即ち皮革、生ゴム、パルプ、タンニン材料、コルク材料、カリ鹽類、雲母、石綿、

水銀、硫酸、サントニン等の物資で、今後の開発に俟つべきもの、或はそのまま使ひうる代用資源が相當豊富に存在して居るのであります。従つて之等を活用しますれば有望な代用品工業が今後大に抬頭する可能性が充分ある譯でありますから、私共に於きましても之が振興を策すべく種々調査考究いたして居るやうな次第であります。バカズ、バルブの如く既に大規模工業化の緒に就いて居るものもあります。

代用品工業の我が國及本島に於ける現状は大體以上申述べました通りであります。今後之を、より一層進歩發展せしめて我が國の當面して居る原料難、資源難を克服し國力を大に伸張せしめますには、國民が協力一致時局を充分認識しまして多少の不利不便は忍んでも一人残らず代用品を使用すると云ふことにならなければ、到底終局の目的を達成することが出来ない譯でありますから、今回代用品工業振興展覽會が開催されましたのを好機としまして、この展覽會を見ることに依つて代用品に就いての認識を深められ、島民各位が競ふて代用品を使用すると云ふ精神を是非とも涵養して下さるやう切望して已まぬ次第であります。

（以下は、本報記者の現地取材記事と思われるが、本文からは読み取れない。内容は、展覽會の盛況や島民の反応などに関するものであると推測される。）



地方情報

森岡長官廣東訪問談

森岡長官は臺灣と最も密接なる關係下にある南支廣東に於ける皇軍將士を臺灣官民を代表して慰問し併せて附近一帯の輝かしい戦跡視察のため十一日午前七時機上一路廣東に向ひ、翌十二日午後四時歸府せられ官邸に於て長官は次の如く語られた。

「昨日十時過ぎ着いて直に最高指揮官の宿舍を訪問し指揮官や○○○○に對し厚く慰問し、銃後島民の感謝の意を披瀝した。最高指揮官もいつも臺灣官民の懇ろなる慰問に對し厚く感謝して居る殊に北、中支と異つて南支には臺灣と云ふ密接なる後援團體が直ぐ後に控へてゐる

ので心強い今後とも宜しく頼むとのことであつた、○○部隊の將士も實に元氣であつて誓つて銃後の期待に背かぬと皆張切つてゐる、南支に來て○○が近くなつた故か皆はしゃいでゐる、最高指揮官を始め將士一同からくれぐれも臺灣官民に宜しくとの傳言を持つて歸つた。

廣東一帯の治安状況は既に放火とかテロの行動も終熄し殆んど完全になつたと云つてよい市内の現在人口は四十萬内外であるが未だ多く下層階級を以て占め今後中産以上の市民の歸來が期待されてゐる。目下踵を次で復歸しつゝ、あるから全市民の歸來も間もなかるべく、殊に○○部隊のゐる○○と云ふ市街は人口二十五、六萬乃至三十萬と云はれてゐる、私が行つた時等自動車も通れぬ程に街頭に市民が溢れ戦争等知らぬ顔で漫歩してゐるそれ等の間を我將士達が三々伍々散策してゐたり、市場に買物をしてゐたりしてお互既に十年の知己でもある様に和やかな氣分が流れてゐる。占據地等と云ふ様な殺氣立つた氣分は双方の顔色には一つも見られなかつた、○○も廣東一帯の戦後復興は豫想外に進捗するだらうと斷言

神作興講演會は昭和十四年一月七日午後八時より臺南市公會堂に於て巡回講師たる貴族院議員關尾貞三郎氏を招聘し

「今上陛下の御日常」

なる演題の下に講演會を開催したが市民は開會前既に堂に溢れ無慮一千餘名に達する盛況であつた。先づ川村知事開會の辭、宮城通拜、出征皇軍の武運長久祈願默禱の後同氏は起つて、今上陛下の御日常を講話せられた。聴衆は襟を正して拜聴何れも恐懼感激愈々盡忠報國の念を昂めしむる所があつた。

グライター講習會民開催

〔臺南州臨時情報部〕 臺南州國防義會航空團主催グライター講習會は年末年始を利用して十二月二十八日より三日間及一月二日より四日間臺南飛行場に於て開催せられたが講習生は臺南高工、同師範、同一中、二中・嘉義農林・高雄中學六校の學生四十五名にして講習は好天に恵まれ滑空回数實に七百二十回に及び中には「セコンダ

リー」にて百米上空を滑空飛行場を一周し得る者もあつて中等學生の技能としては類例ない好成绩を納めた。五日正午川村國防義會長の訓示があつて閉會したが尙右期間中臺南一號機も活躍し市民其の他に航空に關する認識を深めることが尠少でなかつた。

少年團合同野營の實施

〔臺南州臨時情報部〕 州下少年團員の眞面目を發揮し協同互助の精神を以て共同生活の眞の楽しみを味はしめると共に身心の鍛鍊を目的とし昭和十四年一月四日、五日の兩日臺南飛行場に於て州下少年團合同野營を實施したが參加團體二十郡下十九團三百二十名に達し四日午後一時三十分設營開始以來諸行事を五日午後三時臺南神社に參拜祈願祭執行後散會したが遺憾なく所期の目的を達成する所があつた。

戦傷病將兵慰問

〔臺南州臨時情報部〕 臺南州軍事扶助委員會及愛國婦人會臺南州支部に於ては共同にて〇〇病院並に〇〇分院

に入院加療中の戦傷病將兵〇〇名を見舞ひ夫々慰問品を贈呈慰籍する所があつた。

恤兵金の献納

〔臺南州臨時情報部〕 本州及附屬團體職員一同は時局愈々重大なるに鑑み曩に年末年始の贈答其の他虚禮廢止の上各自年末費與金額二百分の一以上を醸出し恤兵献金を募ることを、したが右金額四百六十八圓五十四錢を一月六日夫々献納の手續をこつた。

出征軍人遺家族に關する座談會

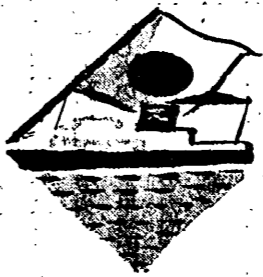
〔花蓮港臨時情報部〕 最近一般に出征軍人遺家族の待遇に關し氣乗薄らぎたる傾向あるに鑑み花蓮郡吉野村内有志三十餘名は十二月二十二日吉野小學校に於て右待遇に關し精神的及勞力的に慰安援助を爲すべく座談會を開催し次の如く決定早速實行することに、なつた。

- 一、青年團を以て勞力的援助を爲すこと。
- 一、戦歿勇士の募參
- 一、出征軍人の家庭に於て掲揚の破損國旗交換

- 一、小公學校兒童をして宅地清掃勸行
- 二、吉野軍事扶助會にて各戸五十錢宛宛附の割宛を爲し慰問其他に充當すること。

皇民化の魁

〔花蓮港臨時情報部〕 花蓮郡セキコウ社九ノ一澤野大藏氏は花蘇通路沿線交通局清水詰所職員である。同氏は昨年末管内の受持駐在所から詰所附近十餘戸の本島人に對し大麻配布の依頼を受けたが部落民は何れも其の日稼ぎの勞働者であり神棚等の設備は勿論なくこうした勞働者に大麻を其の儘配布するのも如何か三種々考へた末忙しい職務の寸暇を利用して十二月二十九日夜更までに手製の立派な神棚十四個を作り上げ各戸に大麻と共に配布更に去月三十日懸々蘇澳から松飾を取寄せ各戸に配布純日本式正月を迎へる様説きたるに本島人も深く感激し同氏を中心に新曆に依る正月が此部落民に迎へられた皇民化運動の叫ばれる秋此の僻地に皇民化指導者を見ることは頼母しき限りである。



海外

情報

二〇

上げ居るも個人的敵意を示すが如きことはない。長期戦に及び種々の経済的制限は相當廣範圍に亘り適用されて居るも、大多数國民は外國爲替市場等には無關心で消費に對する制限に付ても同様である。商人も當局の統制にも慣れ、何等面倒なる問題を起して居らぬ」と報じて居る。

汪精衛和平通電の各方面に及せる影響

各方面に及せる影響

一、主戦派 即ち共産黨を主體させる親歐米派は之を以て彼等の焦土政策に致命的打撃を與へるものとし極力之が反對をせんとするもの、如くである。

二、國內の青年及海外の華僑 彼等は汪精衛の過去に於ける功績を革命史上に於ける勳功を尊敬し彼を崇拜する者多く特に抗戦中青少年學徒は失學して他郷に流浪の辛苦を體驗するの結果となり、華僑達は故郷及家族が焦土政策の犠牲に供せらるゝ懼れあり、彼等は何れも反對を唱へんと欲するも反對し得ざる状態にある。然るに此

外人記者の眼に映する

戦時下の日本

「タイムズ」は東京特派員通信として、日本は過去十五箇月に亘り、支那と戦つて居るにも拘らず、國民の大多数は大戦當時の交戦諸國の狀態に比すれば、戦時とは思はれざる程平静を維持して居り、又特に顯著なのは在留支那人に對し全然敵意を示さざることで、約三萬に上る支那人は従前通り安居樂業して居る。支那國民に對しては何らの敵愾心を感じて居らず、寧ろ第三國を敵視する方が強く蘇聯を永久の敵と考へ、又英佛を次々に槍玉に

度の汪によつて發せられた和平聲明は正に自分等の言はんとせる事を汪によつて發表せられたものである。

一、商工業 事變勃發以來各商工都市機關は全く焦土政策下の犠牲に供せられ商工業は今や破産に瀕し殊に小商工業家に至りては飢餓線上に徘徊するもの多く彼等は日夜和平の早く來らんことを祈求して居るものであるから汪の和平聲明は正に彼等にとりては救世主の福音である。

一、農民 智識低級なる支那農民は政治の如何なるものたるを知らず農耕地は戰場に化し、農作物は敗殘兵匪賊に荒され今は避難民として流民になつた。彼等は日夜戦争を咀嚼し、和平を祈禱し居る。故に此度の汪の聲明は正に彼等農村難民を救済する唯一の道と見るべきであつて勿論農民の歡迎する所である。

以上各方面の意見を綜合するに一般大衆は汪の和平聲明に共鳴せざるものなく均しく熱烈に之が實現を渴望して居る。

差炭の苦に唱ぐ泉州民衆

泉州よりの來厦者は年末年始の泉州の様様を次の如く傳へて市民を戦慄させ彼等をして今更の如く皇軍下の安居樂業を謳歌せしめてゐる。

「目下泉州には第八十師と保安第一團及び第二十師の軍隊が駐屯してゐる事になつてゐるが實際は第八十師と保安第一團は小部隊が駐屯してゐるのみで、赤色部隊として有名な第二十師の王繼祥部隊が泉州の實權を掌握して居り、彼等兵士は擄取に餘念もなく、民衆怨嗟の的になつて居るが昨十二月以來泉州の亦化に積極的態度を見せ始めルンペンを驅り集めて兵をなし、二千餘名の壯丁隊を組織したが最近「共産黨遊撃隊」に改稱し幹部は訓練に懸命になつてゐる、だが是等兵士は泉州が抗戦區となる事を豫想し、沿海の哨兵等は續々逃亡してゐる。而して第二十師は極度に軍費に缺乏して居るが、王繼祥師長は元且を機として民衆擄取を思ひつき、長さ五寸程の旗章を作製、上部に「紀念元且必須獻金、献力、献命、堅持抗戰到底」と證し是を各民家に釘で打ちつけ「泉州民衆の元且を紀念する前線將士慰勞献金」の名に於て各戸

から金品を掻きあげた、富裕な民家は最低三元を強制献金させられ、貧民も一戸に付き五角を搾られてゐる。斯くて泉州民衆は暗黒の新年を迎へたが、彼等兵士は最近武装して各部落に入込み残留青年を逮捕し、司令部に押送して毎日集合訓練を受けさせてゐるが是を受けない者には棒棒を以つて殴打すると云つた残酷振りで、元旦以來行方不明になつた者は四十餘名に上つてゐる。何れも彼等の爲めに命を失つた泉州民衆は斯うした第二十師の悪虐極まりない態度に、地獄の責苦を味つてゐる。泉州は今や悪鬼夜行の町と化してゐる。

香港避難民は數十萬人

(香港)

戦塵南支に波及せるや廣東各地の避難民は一時に香港へ殺到し其數、數十萬ありと謂はれる。其中住むに家なく野原に露宿する者も一時は四、五萬を算へられた。然るに最近廣東の治安恢復せるに従ひ國境九龍附近に避難せる者は漸次歸還し、其現象は直ちに避難民收容所にも現はれた。次に英政府經營に係る香港、九龍、新界、錦

田等に建てられた、九箇所の收容人員を列記すると

收容所所在地	現在收容人員	前月收容人員
京 土 柏	一、五九四	一、三四七
馬 頭 涌	七五一	—
北 角	一、三一九	四〇〇
荔枝角醫院	六一	—
馬涌浦(退伍兵)	一、〇七五	—
姓々農場	五六五	八〇〇
粉 嶺(北)	五五三	一、〇五〇
粉 嶺(南)	五五三	一一五
錦 田	三、〇一六	三、八四七
計	九、四八七	—

然るに前月收容人數は明確を缺いたる所があつたが全數に於ては約現在の二倍即ち二萬人以上あつたを推定せらる、其減少原因は即ち廣東へさし／＼復歸したものである。

抗日團も日本軍占領地域よりの輸入

品を劣貨として認める事が困難となる

(新嘉坡)

曩に當地總商會に於ては日本軍占領地域よりの輸入品は劣貨と認め排斥すべきや否やに付き國民政府に照會したるに、總括的に劣貨と認むべきや否やは決定し難く輸入貨物各別につき問合せられたし然る上は判定通知する旨の返事ありたる趣である。然るに先般青島より林檎を輸入したる者あつて早速抗日團から抗議に出向きたるに、該輸入者は「青島には日本人の植えたる林檎なし支那人が支那で作つた林檎を劣貨とは如何なる理由か」と堂々反問し抗日團は其儘引下つた由である。抗日團の威力衰へたと云ふべきである。

歸國の中華民國人に對する旅券は

嚴重取締

(新嘉坡)

當地支那總領事館では最近華僑各會館及同郷會に宛て今後支那人の歸國に對しては嚴重な制限を加ふべき旨通告を發したと謂はれるが、これに依るに今後歸國を希望する支那人に對しては各會館又は同郷會の證明書を總領

事館に提出せしめ本人の身許歸國の目的其他詳細に亘つて調査するのみならず査證料は從來一弗であつたのを二弗に引上げたが之は付つて當國に殺到せる支那人避難民が皇軍占領下にある支那本國各地の治安恢復と共に歸國し始め、是等支那人が又皇軍庇護下にある支那民衆の安居樂業の状況を當地支那人に知らせて來るためだと言はれてゐる。

廣東日語學校の開校式舉行

本府では廣東市内に於ける日語講習を計畫し昨年末現職の小公學校訓導六名を同地に派遣し其開設準備に當らしめて居た處廣東日語學校なる名稱の下に左の二箇所に於て授業を開始することとなり去る一月十日陸、海、外三省關係官其他多數の來賓參列の下に盛大なる開校式が舉行された。因に同校に收容せる生徒は各所共三百名乃至四百名の多きに達し中には年齢六十六歳を越ゆる者も在つて該地方に於ける日語學習熱の旺なることが推知せられる。

惠愛東路 舊禺山中學跡 惠愛西路 舊國民大學跡



華僑

情報

各華僑公會慰問金提出續報

本報第四十九號に於て既に掲載せし如く島内各華僑公會は總會の申合通知に基き感謝の一端を表すべく出征軍人戦傷死者遺家族慰問金を募集した處、成績極めて良好で其の後更に本府に報告した分左記の通りである。

斗六	四五、五〇	淡水	四四、七五
北門	一一、〇〇	文山	一七、九〇
北港	五一、五〇	玉里	一六、八〇

基隆	五〇、〇〇	北斗	四八、三〇
宜蘭	四〇、〇〇	臺東	五四、五〇
羅東	二七、〇〇	新竹	二五、〇〇

金瓜石華僑新民公會發會式

先月下旬誕生した九分華僑新民公會に呼應して在金瓜石の華僑約二千餘名が東亞新秩序建設に則應すべく公會組織準備中の處此の程諸準備整ひ十五日午後一時より金瓜石公學校講堂に於て會員全部並に多數來賓列席の上新興の意氣に燃え和氣満々の中に發會式を舉行し午後四時盛會裡に閉會した。

福建支那軍華僑を監禁

閩省政府の財政は危機に瀕して居り而も内訌が表面化してゐる爲各政務は極度の滯滞を來し民衆は最近の抗日政權の無態さにあきれ各地の反蔣輿論は漸時積極化して居る。従つて民衆は獻金を漸時停止し又國外の華僑も廣東陥落後は獻金せず經濟的援助を中止してゐるので閩省

華僑の汪精衛聲明に合流

事變勃發以來蔣は南洋華僑に對し政府委員を派し或は強迫煽動等凡ゆる手段を用ひて多額の獻金をなさしめ抗日戰の財源として來たが先般汪精衛聲明は彼等に一大衝動を與へ、遂に反蔣運動は燎原の火の如く擴大、今回塗炭の苦しみに喘ぐ同胞を救ふべく、新嘉坡華僑幹部數十名連名「同胞父老兄弟姉妹に告ぐ」の宣言文を發表蔣介石の一大罪惡を暴き同胞の猛省を促し、日華提携の道こそ東亞永遠の平和と幸福を廣らすものなりと喝破し蔣政權に對し一大痛棒を加へたのである。

臨時政府要人より華僑に勸告通電

臨時政府要人江朝宗、殷同外二十二氏の連名で南洋方面有力華僑宛に新政府へ合流方勸告打電した。大部分の華僑は和平論擡頭の折柄相當動搖あるも頑迷なる一部幹部は頗る煽動しつゝある由である。

黨政軍の軍費缺乏を招來し彼等は極端に焦慮して居る。現に閩省駐屯軍第五二師及第八十師は斯様な經濟的困窮の結果備々民衆の財産を掠奪し激烈な勢力争ひを演じてゐる。先日英國船「豐慶號」新嘉坡から福州に入港した際歸省華僑十四名を第五二師兵士が監禁し祖國の軍費缺乏を口實に各人に一千圓の獻金を要求した。之に對し華僑は交渉の末漸く各人二百圓獻金で釋放された。然るに更に第八十師兵士からも獻金を強要されたのに呆れ歸省旬日足らずで旅裝を整へ密かに逃じしてしまつた。尙漳州駐屯第七十五師の兵士は閩省の經濟難に依り俸給三箇月分も支給されず士氣大に沮喪し非戰論を唱へるに至つたのである。彼等兵士は嚴寒迫るこいふのに冬服なく麻袋で辛うじて寒さを凌ぎ特に最近マラリヤが流行し醫藥缺乏で死亡者が續出してゐる。糧食も交通障害で届かず現在二食を粥で過してゐる様な現狀で誠に敵乍ら憐むべきものである。

事変日誌



臨時情報部

十二月二十四日

【西安】—空軍大舉襲撃、飛行場格納庫、軍事施設、省公署、重要建物等を徹底的に爆破
前回の爆撃以來一時我空襲社絶し安堵して西北建設
工作を進めつゝありし敵に大脅威を與へ無事歸還

十二月二十五日

- 1 大正天皇祭
- 2 〔桂林〕空襲

市に散在せる重要軍事施設を爆撃、我が敵次に互る
攻撃により市街軍事據點は概ね潰滅せり
この時市中陣地より高射砲機銃の防禦銃砲火極めて
熾烈なりしも我に損害なく全機無事歸還

二六

十二月二十六日

- 3 武昌治安維持會成立式は舊湖北省政府跡の昭和堂に於て日支兩要人一千餘名參列盛大に舉行された
- 4 漢緬川滇鐵道開通式舉行
瀘州（雲南）—緬甸。川滇線（四川省叙州—雲南）
- 5 王子製紙會社長藤原銀次郎氏は實業界より退き藤原工業大學を設立老後同大學の經營に惠念するこゝみなれり。

十二月二十六日

- 1 天皇陛下御親臨の下に第七十四帝國議會開院式は貴族院に於て殿前に行はれたり。
- 2 皇太后陛下には今回財團法人同仁會に御手許金御下賜の御沙汰あらせられたり。
財團法人同仁會は醫療防疫班を組織し支那民衆に對し施藥救護に従事宣揚に盡力せり。
- 3 空軍の活躍
【重慶】—敵の政略兩略の中核、空軍再建設の重要據點敵の防空火器を冒し大小多數の爆彈を投下敵に多大の損害を與へ全機無事歸還

【瀋陽】—東北方に據る約一箇旅の敵を反復猛爆潰滅的打撃を與へたり。

【南寧】—飛行場を急襲徹底的に破壊

【金剛山】—偵察攻撃をなし黨軍を周章狼狽せしめたり。

【中正街】—江蘇省東北方—蠢動する敗殘兵據點部落を粉碎兵舎を爆破

第七回論功行賞發表さる

行賞の恩典に浴するもの六千三百九十九名なり。

十二月二十七日

- 1 畏くも 天皇皇后兩陛下には野戰糧食を召され戦線將士を偲ばせ給ふ。
- 2 北支軍は京漢線地區の清掃に多大の戦果を収めたり。

我が北支軍は平漢線に（天津の西方地區）沿ふ地區より行動を起し所在の敵の掃蕩寧城・新城・雄縣・瀋陽を攻略し治安著しく恢復せり。

閩軍門艦隊に空軍活躍

【大連】—吉縣（山西省西部）—連續爆撃、軍事施設及地上
【石橋】—雪崩を打つて北方に潰走する敵を猛爆退

路を遮斷、潰滅

【文字橋】—雲石の西方—集結中の共產軍百十五師約二千を掃撃潰滅

十二月二十八日

【柳州】—猛烈なる地上砲火を冒して低空爆撃を敢行、同飛行場西側の大格納庫數棟及滑走路を爆破し、將に離陸せんとする大型飛行機一機を大破墜復せしめたり、我方全機無事歸還

【大連】—吉縣—空襲敵既設陣地及び集結部隊猛爆潰滅

十二月二十九日

- 1 汪精衛は蔣介石並に國民黨中央政治會議、中央執行委員會、中央監察委員會宛重大聲明を發表せり。

日本の平和三原則—日支友好、防共協定締結、經濟的提携を承認、速かに和平回復のため日本政府と意見の交換をすべきである、尙日本軍隊の支那よりの撤收を條件としてゐる。

大編隊を以て奥地爆撃敢行

【重慶】—長沙、貴陽作戰公路の要衝を扼し市内の軍事施設猛爆

【常德】—桃源—軍事施設及集積軍需品を爆撃甚大なる損害を與へ午後四時全機無事歸還

二七

十二月三十一日

山西省西部の殘敵掃蕩完了

山西省西部に蠢動する敗殘匪掃蕩戦は二十三日行動を開始し汾河北岸隰曲(臨汾の西方)より進撃、天險土門村陣地・欽頭村陣地に據る頑敵を空軍の協力の下に撃破進撃、二十七日蒲縣、二十九日大寧に進出、更に隰縣、石樓に猛進撃。河津よりの進撃部隊は紫金山の敵を撃破、禹門口渡河點を扼し離間線の要害を拔き三十一日には敵の本據吉縣を占領山西省西部の掃蕩戦を完了せり。

一月一日

廣東奪回の夢を見る敵に對し元旦總攻撃の火蓋を切る。

從化南方神岡、高排村附近に蟄居せる敵に對し總攻撃開始、敵は頑強に抵抗を試みしが我が將兵の初の攻撃に士氣益々揚り一氣に流溪水岸に壓迫殲滅せり。

修水河畔にて敵を潰走せしめたり。

我が軍は贛漢西北地方の我が警備隊に對し來襲せる敵を反撃これを潰走せしめたり。

一月三日

中支最高指揮官畑俊六大將は今回軍事參議官に親

補せられ、其の後任として山田乙三中將に親補せられたり。

德縣東北の共匪を撃滅せり

強國軍は河北省南部に蟄居、共產軍と合流し共產第二路軍を編制し蠢動しつゝありしかば我討伐部隊は迎春早々の根據地吳橋(津浦線德縣東北)一帶を掃蕩すべく行動を開始、所在の頑敵を撃破、敵の本據吳橋を陥れ、附近一帶を掃蕩すると共に同地に於ける偽縣政府、共產黨青年訓練所、兵器修理工場等を發見完全にこれを覆滅せり。

陸縣(濟南の西北八十五軒)共匪撃滅

陸縣に在りし共產第八路軍、第十八遊擊隊、千治良、李玉双等別動隊の合流匪約二千餘、元旦を期し津浦線破獲の目的にて集結中なりしかば我が軍は十二月三十一日吹雪を衝いて出動、元旦、二日、三日に亘り各地に壯烈なる掃蕩戦を行ひ敵を捕提殲滅、同地にありし陸縣偽政府及兵營を燒却せり。

一月四日

近衛内閣總辭職、後繼内閣の組閣の大命平沼賦一郎男に降下せり。

珠江掃蕩部隊は沙灣水道を強行突破所在の敵を撃破、沙灣水道入口附近に於て敵の守備隊及大型軍用舟艇數隻を攻撃これを潰滅せり。(以下次號)

臺灣時局日誌 昭和十三年度

十一月

十六日

・森岡總務長官歸臺
・南支戦線白衣の勇士歸還
・臺灣總督府南支派遣軍慰問團一行廣東に到着
・花蓮港艦下ロサオ華社移住完了式舉行
・東石郡下虱目魚天候の激變を受け凍死四十一萬尾に上り損害甚大
・太平洋横斷を企てし各國人七名乗組の戎克船澎湖島に漂著

十七日

・古莊前南支方面最高指揮官歸還の途中來臺(二十二日内地)
・十八日

・〇〇海軍航空隊にて戦死者の合同慰靈祭執行
・臺北市出征軍人後援會、出征軍人遺家族慰安會を開催
・品質優良の國産ウイスキーを専賣局より新發賣
・廣東居留民四十三名臺灣經由最初の復歸

をなす

十九日

・府橋爪保安課長奈良縣警察部長に轉出
・軍事後援大會桃園にて開催
・第三回全島市會議員協議會總會開催
・世界キリスト教大會出席の日本代表賀川豊彦氏一行基隆寄港

二十日

・臺南にて全島軍犬の審査舉行
・役馬利用競技會を新竹競馬場に於て開催
・向ふ五日間交通訓練實施

二十一日

・〇〇方面に赫々たる武勳を輝かせし郷土部隊の勇士〇〇名原隊に歸還
・新嘗祭

二十三日

・全島學童よりの献納飛行機「臺灣義勇學校」基隆に到着
・島都青年大會開催
・在北華僑、祖先の詞前に於て日支親善東洋平和の新願祭舉行

二十四日

・本島人への親族相續法適用審議のため法令取調委員會府にて開催
・中央研究所を解散し各部、分立の旨官報にて發表
・府保安課長に下村鐵男氏發令

二十五日

・水戸前馬公要港部司令官離臺
・臺拓臨時總會開催
・府府主催第二回全島青訓生第二回聯合演習臺南平野に展開されたり

二十六日

・臺中州警察官の野外演習警務峰中心に舉行
・臺灣山地開發調査委員會幹事會開催
・練習艦隊移手、八雲基隆に入港

二十九日

・全島軍事後援事業並社會事業大會開催
・第三回山地開發調査委員會開催
・訪日ゴンドル機臺灣上空を通過

澳底漁港の落成式舉行

十二月

石油資源開發法施行規則公布實施

地方長官會議府正廳にて開催

全島に防火日實施

新竹市の天然ガム配給實現

南支線線白衣の勇士歸還

臺灣鐵道資源展覽會開催

森岡總務長官上京

八日

内閣定期航空ダクラス富士號沖繩にて遭難

内務部長會議開催

少年警察官全島各地に配置

十日

臺灣防衛警備區警報規定公布

第二十五回全島國語演習會開催

十三日

第七回支那事務特別國庫債券賣出

内田厦門總領事來臺

廣東の風上病退治に河田博士の一行出發

十四日

臺灣産業振興座談會開催

十五日

三〇

經濟強國週聞全島一齊に實施

臺灣大車協會々員總會開催

(以下次號)

昭和十四年一月十九日印刷
昭和十四年一月二十一日發行
(月三回發行)

臺灣總督府臨時情報部

臺北市榮町二丁目十五番地

印刷人 加藤 豊吉

臺北市京町二丁目四十三番地

印刷所 小塚本店印刷工場

本社 東京市日本橋區室町二ノ一

(三井三號館)

日東拓殖農林株式會社 臺灣出張所

臺北市築地町二ノ六

電話 二二七
三三九
五九七
五一六
八二六
番番番

部編 昭和十二年九月二十日第三種郵便物認可 (毎月一日、十一日、廿一日發行) 第五十號